



↑料理の合間に、娘のピアノレッスンを見守れる。



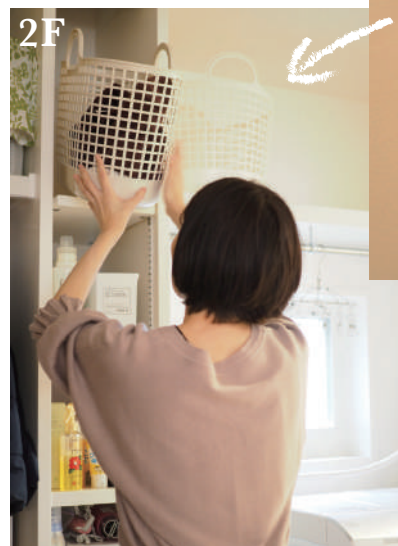
LIFE

OKUTA STAFF HOME

2018年に自らデザインを手がけたこだわりの住宅は、2階・3階に自身とご主人、お子さんとの3人、1階にはお母さまと暮らす2世帯住宅となります。ヨーロッパの片田舎の街並みやアンティークが大好きという桑原の「LIFE」をお子さんを交えお届けします。

#1 | 桑原 陽子 | インテリアデザイナー | 👤👤👤

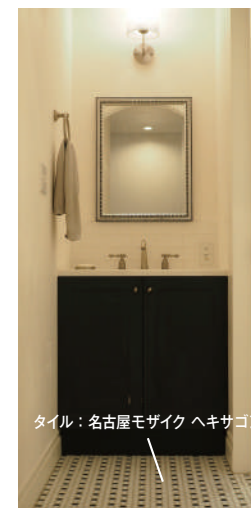
家族の調和をテーマに豊富なデザイン経験から得たアイデアを取り入れた住宅は、OKUTAオリジナルの漆喰や無垢の建材「LOHAS material」をふんだんに使用し、シンプルながら温かみを感じる住まいです。玄関からのびる階段はリビングに繋がり家族が顔を合わせ、集い合う場所になっており、タテ階段を駆け上がる子どもの足音に、キッチンから「おかえり」と声をかけられるよう工夫がされています。笑い声の絶えない空間に、自然と対話が生まれるコーディネートが随所にちりばめられており、暮らしの工夫からデザインのアイデアまで詰め込んだ素敵な空間となっています。



←バスルーム横には「ランドリーシューター」。階段を上り下りしなくても、3階からフタを空けて洗濯物を入れると2階の洗濯機置き場まで落ちるという仕組み。3階のバスルームだと洗濯物が大変そう...と思われた方にぜひおすすめしたいアイテム。



→
存在感抜群のヨーロッパスタイルのバスルーム。まるで映画のワンシーンのような1日の終わりを感ずることが出来ます。また、バスルームは珍しい3階への設置。朝もシャワーを浴びることを想定しベッドルームの横へと動線を考えました。



1階の階段を上がり2階につくとすぐ目に入る造作洗面台。トイレ横に独立し設置された洗面台は、来客に洗濯置き場などのディープな部分を見られる心配がありません。床のタイルはフランスのアンティークタイルのデザインを模した、こだわりのヘキサゴン貼り。洗面台の塗装と合わせ、ホワイトタイルと組み合わせました。年月が経つにつれ、よりアンティークな雰囲気になじみ、深みが増していきます。



アンティークショップ「ボンコテ」で一目惚れをしたという玄関ドアは、無垢の温かみとアイアンのコントラストが目を引きデザインです。玄関を入ると、土間には丁度いい高さのベンチインシューズクローゼット。ベンチとして靴の脱ぎ履きにはもちろん、買い物帰りの荷物置きとしても活用できる優れたもの。



LOHAS studio大宮店
インテリアデザイナー
桑原 陽子

イギリスとスイスへの語学留学を通じ、「住宅」に携わる仕事に興味を持つ。その後、インテリアスクールで「インテリアコーディネーター」の資格取得を目指すことに。2004年末経験でインテリアデザイナーとしてOKUTAへ入社。現在では、様々なコンクールに入選するなどの数々の実績を積んでいる。



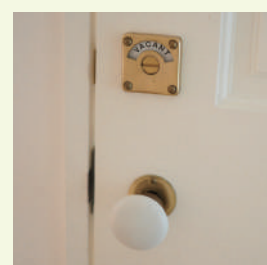
スタッフブログ
はこちら

Sarah Grace



ダイニングチェアの中でも、ひととき存在感を放つフランス雑貨やフランスインテリア、ヨーロッパから輸入し取り扱う「サラグレース」製のチェア。

DELICATE TOOL



KOHLER



ヨーロッパの伝統的なクラフトマンシップを色濃く受け継ぐ。独創的で高級感あふれる洗練されたデザインと、品質を誇るアメリカを代表する水廻り製品メーカー KOHLER(コーラー)社製のペDESTAL洗面台。

PICK UP ITEM

CONCORDIA



3階トイレの照明はミニマムでシックでキュート。アンティーク調デザインと品質の高い照明の専門店「コンコルディア」のもの。



床材：LOHASmaterial ナラ材(クリアオイル塗装)



↑お料理をしながら、リビング全体を見渡せ、お子さまの遊んでいる様子やお昼寝中に目が行き届きます。
←テレワークスペースにもあえて建具を設けないことで、お仕事でも家族の気配を感じることができます。



壁掛けの収納にすることで元に戻すという意識が働き、散らかることや「物がどこに行ったかわからない」などの事がなくなりました！



有孔ボード



タイル：ボロンタイル

↑家の中の生活感のある物が集まるパントリー。壁も有効活用し、収納の機能を持たせたい。とはいえ、LDK側から見える場所ということで、存在感を薄めたいということで、クロスと同じ色味に塗装。有孔ボードにすることで、掛けたいものに応じ高さや位置などを気軽に変更できます。

→脱衣所の壁をアール壁にしたことで圧迫感を除きました。うまくお風呂の位置をずらすことで建具がなくても着替えが気にならず、マンションでも開放感のある仕上がりに。お子さんが角にぶつかる心配もなく大満足ポイントです。



モールテックス

↑リビングに隣接した脱衣所はミラーキャビネットにすることで、見せたくないものを隠せるようにしています。



マグネット壁

↑マグネットの壁はお子さんが保育園で作った作品や時間割などを貼っておけるスペースに。ニッチに設けることで自然と馴染みます。

→玄関収納を浮かせることで、圧迫感の少ない大容量の収納スペースに。掃除も楽々です。



タイル：オルスタンダード レジオンブリック

LIFE

OKUTA STAFF HOME

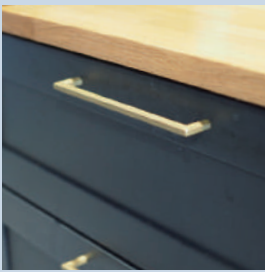
2020年お子さんの出産を機に「このままアパート暮らしではいけない」と思い立ち、OKUTAで中古マンション購入～リノベーションまでをワンストップで行いました。前職でのフラワーアレンジメントの経験を生かし、自宅にはグリーンがたくさん。様々な部屋に飾られたグリーンと共に横山の「LIFE」をお届けします。

#2 | 横山 夕理子 | 営業 |

ワンルームに近い、動きやすい間取りにしつつ、将来的には個室を作ることが希望であった横山。子育てをしながらのテレワークのしやすさや家事動線などを考慮した間取りを自ら考え、どの部屋にいても家族の気配を感じることのできるワンフロアスタイルを実現しました。全ての部屋へ繋がりがあつても、視界を遮りたいところは絶妙に見えない配置にしているところも見どころのひとつ。調湿性や消臭効果のある珪藻土を天井などのポイントに取り入れることで、コスト削減の面でも工夫を取り入れています。

PICK UP ITEM

WOODONE -キッチン収納-



女性職人の作った真鍮六角ハンドルは洗練されたフォルムで、人目を引くデザイン。



TOM DIXON -BEAT WIDE PENDANT- -照明-

インドで日常的に使われていた真鍮製の水塞にインスピレーションを受け形づくられた照明「ビート」シリーズは、インドで急速に消えつつある真鍮工芸の保護を念頭に、熟練工により真鍮の手打加工を施して製作され、高度な溶接技術も相まって、工芸品のよう仕上がりとなっています。



ANTHROPOLOGIE -ブラケット-

デザイン性のある食器類から雑貨、家具などユニークで洗練されたデザイン雑貨を豊富に取り扱う海外ブランド。ブラケットには鳥のデザインが施され、一目引くものとなっています。

FUTAGAMIは、富山県高岡市の老舗鋳造メーカー「二上」が立ち上げた、真鍮の生活用品ブランド。ランタンの様な細長い形状で、アウトドアな雰囲気を室内に持ち込めるランプです。ペンダントランプとして使える「吊り型」は、奥行きのないカウンターや窓側などで使いやすい形状です。



FUTAGAMI -ペンダントランプ-

今回ご紹介した施工事例を詳しくご紹介しております。LOHAS CLUB ホームページはコチラから



スタッフブログはこちら

LOHAS studio吉祥寺店
営業
横山 夕理子

前職はフラワーアレンジメントで結婚式などの装花に携る。手先の器用さを活かしつつ、物・空間を作り上げる事に携わりたいと思い、2015年OKUTAに入社。大学で学んだインテリアデザインの知識を取り入れつつ、お客様の快適空間を提案する営業として現在も育児しながら奮闘中。



↑テレワークスペースには持ち家でしかできないということで憧れの本棚を造作で設置。将来的に子供部屋などワークスペースでない用途にすることを考え、フレキシブルに対応出来るよう、下の空間を開けています。

→寝室には建具を設けることで、しっかりプライベート空間に。お子さまが夜就寝した後も夫婦の時間をリビングで愉しめます。

造作本棚



キッチンとダイニングを横並びにすることで、調理・配膳・片付けの動線が短くなりました。キッチンと食卓を行き来する動作が減り、できたものからすぐに配膳できるので、キッチンが片付けやすくなります。



脱衣所がキッチンと繋がっていることで、料理をつくりながら洗濯物をしたり日々の家事動線が短く無駄な動きを無くすことを実現しました。



床材：ナラ無垢床

リビングを広く取り、フレキシブルに形状を変える家具などを採用することで、子供が広々と遊べたり、家族で並んで運動をしたり、ホームパーティーが快適に出来るようになりました。



塗装：モールテックス

LIFE

OKUTA STAFF HOME

日々お客様へ自然素材を採用した快適で魅力的なお家を提案する中で、自分自身もそういった空間に住まい、お客様に説得力のある提案がしたいとリフォームを思い立ちました。自ら設計とデザインをし、商品選定から現場監理まで全てを一貫して行った自宅はこだわりとアイデアがたくさん詰まっています。

#3 | 山田 茜 | 営業 |

自宅ですべてこだわったのは、「家事導線」と「収納計画」、そして「シンプルで自然素材の良さが生きる空間づくり」。設計段階から、家具や雑貨、収納の細部に至るまで、どこに何を置くかを徹底的に計画し、引っ越し後の家具レイアウトや飾る雑貨なども含め、イメージ通りに仕上がったといえます。細部まで計画された自宅はシンデレラフィットで気持ちのいい箇所がたくさん。プロ目線での気付きやアイデアも必見です。



壁：EM漆喰（フラット）

本棚はニッチに設けることで、狭いスペースを有効活用できます。

主寝室はシングルベッドが2台ぴったりと入るスペースに設計。天井にプロジェクターを付けることで、テレビを取り付けなくとも、壁で映像が楽しめるようにしています。ベッドの横にスペースがある当たり前を取り除き、壁に囲まれた空間は想像以上に心地良い。マンションでスペースが限られる中でも、リビング等の共有スペースを広く取りたいと考えている方には特におすすめの間取りです。



壁：テシードクロス RICE 2



子供部屋は6.5畳と狭いスペースでありながら、縦の空間を上手に利用することで、プライベート空間も保てるようになりました。デスクスペースは秘密基地のようでお子さんもお気に入りの部屋に仕上がりました。



棚板：足場板

「物の住所を決める」をテーマに設計された、玄関から伸びるウォークスルー収納。建築の段階で収納に利用するボックスを決め、それに合わせた高さや幅にしているため、全ての収納がぴったりと収まっています。「物の住所を決める」ことで、家族全員がどこに物を戻せば良いかが明確になり、部屋の散らかりを抑えることが出来るようになりました。



ただいま〜

玄関から収納までを土間にするすることで、帰ってきてすぐ靴を脱ぎ、収納スペースにランドセルや上着などを片付けることが出来ます。お子さんでも簡単に靴の片付けができるように、シューズクロークにも扉を設けず、必要最低限の靴を収納しています。



塗装：カケルペイント

扉：アイアン

玄関を斜めにすることで、空間を広く見せ、収納に取っ手を設けないことで廊下がスッキリと清潔感のある雰囲気になります。

LOHAS studio横浜店
リフォームプロデューサー
山田 茜

大工の祖父と建築士の父を持ち、幼い頃から住宅に関わるのが大好き。幼少期の夢であったインテリアコーディネーターの資格を保有しつつ、LOHAS studioのリフォームアドバイザーとして2009年にOKUTAに入社。現在では、女の子2人を持つ母としてお客様に寄り添った提案をしています。



スタッフブログ
はこちら



TRUCK FURNITURE

-sutto table-

天板の厚みや脚のサイズがスツとしてからストテーブル。スツと見せるためにいろんな工夫を重ねたディテールが入っている美しいフォルムのダイニングです。

真鍮の素材感を活かした「Barcelona」シリーズのウォールランプ。アーム長の異なる2種類があるため、好きなお部屋にあわせやすい。真鍮ならではのくすみが高級感を演出します。



ARTWORKSTUDIO

-Barcelona-wall lamp-



SQUARE Furniture

-オーダーカップボード-

元々カップボードとして使用していたものを、チェストにリメイク。天然木とアイアンでできたチェストは経年美化が美しくリビングの顔となっていました。

PICK UP ITEM

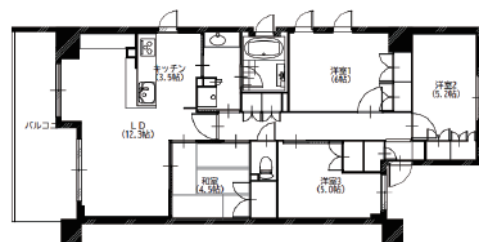
toolbox

-ワンタッチドアハンドル ワイド-



ハンドルの表面には「PUSH」「PULL」とエンボス加工が施されているなど、普通のドアノブにはない存在感があり、空間のワンポイントになります。

Before



After

